

町アイヌ施策基本方針を改訂しました

町に息づく伝統的なアイヌ文化を後世に引き継ぐ総合的方針

本町は2007（平成19）年度に他の自治体に先駆けて「町アイヌ施策基本方針」を策定し、アイヌ文化振興のための施策を展開してきましたが、近年は取り巻く環境が大きく変化してきたことから、2019（令和元）年5月に施行された国のアイヌ施策推進法の趣旨などを反映し、私たちが住む白老町に息づくアイヌ文化を保存・伝承・発展させ、後世に引き継ぐための中長期的な新たな総合的方針として改訂しました。

基本的な考え方・課題を明確化

町内アイヌ関係団体をはじめ各分野の専門家に参画いただいた「町アイヌ施策基本方針検討委員会」（岡田路明委員長）を設置し、計4回にわたる討議を重ねて内容の検討・整理を進め、町民向けパブリックコメントの実施および町議会（総務文教常任委員会）への説明を経て、改訂案を決定しました。

具体的な施策を体系的に示すアクションプランの要素を取り入れ



【具体的方針】

- ① アイヌ民族の歴史と文化を正しく認識し尊重する社会を創造します。
- ② 白老のアイヌ文化の振興と伝承に努めます。
- ③ アイヌ民族の歴史や文化に関する教育の振興を図ります。
- ④ 産業の振興、生活環境の充実に努めます。
- ⑤ アイヌ民族に関する施策を総合的に推進します。

【主な課題】

■歴史や文化の研究・保存・伝承のあり方 ■伝統的有用植物や林産物などの素材確保 ■アイヌ関係団体や町内機関・団体との連携による強みを活かした施策展開のあり方 ■次世代の担い手確保のあり方 ■町内アイヌ関係団体のさらなる連携強化のあり方

今後、この基本方針に基づき、文化・教育・産業振興など、町と関係機関・団体などが密接に連携を図り、アイヌ政策推進交付金などを活用し、具体的方針の推進と課題解決に向けて取り組んでいきます。

問い合わせ先：政策推進課 アイヌ政策推進室 ☎82-7739

アイヌ力（ぢから）～白老から世界へ～

宇梶静江主演 映画「大地よ！ アイヌとして生きる」

完成記念初上映と講演・舞踊の集い



「大地よー」は、アイヌ文化伝承者で詩人、古布絵作家の宇梶さん（町内在住）の自伝を基にした記録映画。「アイヌとして生きる女性が、内なるアイヌ、内なる大地を切り拓き、その生涯をかけてアイヌの精神性を問うた軌跡」（自伝「大地よ！」書評から）を描いている。

日時 5月21日(土) 14時～17時（上映は約90分）

会場 白老コミセン 講堂 定員 300人 料金 無料

主催 アイヌ力（ぢから）実行委員会

共催 白老アイヌ協会、「アイヌ力（ぢから）」 後援 白老町ほか

詳細 白老アイヌ協会 ☎0144-84-5130

